

# SDGsに関する 万国津梁会議 (第1回)

会議資料

2020年7月3日 (金) 13:00-15:00

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## 会次第

<13:00-13:05>

### 1. 主催者挨拶

沖縄県知事 玉城デニー

<13:05-13:15>

### 2. 委員による自己紹介

<13:15-15:00>

### 3. 審議事項

<13:15-13:30>

(1) 今年度のスケジュール

<13:30-14:35>

(2) 沖縄らしいSDGsの検討

①共通理念の検討、②ターゲットの絞り込み

<14:35-14:55>

(3) 県民認知度調査について

<14:55-15:00>

(4) その他

## 委員名簿

	氏名（ふりがな）	所属・役職
委員長	島袋 純（しまぶくろ じゅん）	琉球大学 教育学部 生涯教育課程 教授
副委員長	蟹江 憲史（かにえ のりちか）	慶應義塾大学 大学院 政策・メディア研究科 教授
委員	佐喜真 裕（さきま ゆたか）	沖縄銀行 総合企画部長
委員	佐野 景子（さの けいこ）	独立行政法人国際協力機構沖縄センター（JICA沖縄） 所長
委員	玉城 直美（たましろ なおみ）	沖縄キリスト教学院大学 人文学部 英語コミュニケーション学科 准教授
委員	平本 督太郎（ひらもと とくたろう）	金沢工業大学 情報フロンティア学部 経営情報学科 准教授 SDGs推進センター長

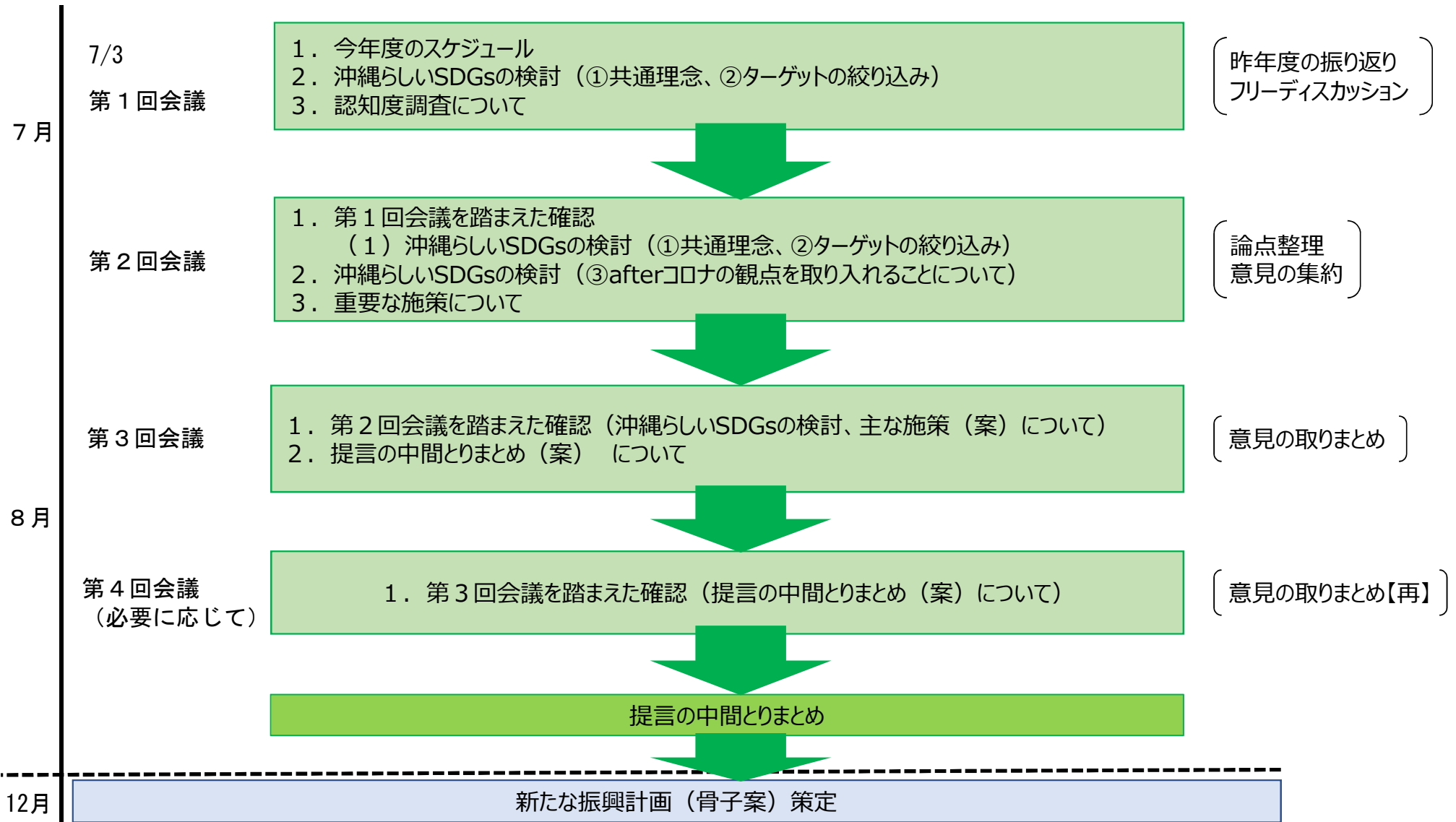
## 審議事項（1）今年度のスケジュール

目標：沖縄らしいSDGsのあり方について提言する

令和2年 7～8月	9～10月	11～12月	令和3年 1月
<ul style="list-style-type: none"><li>会議を複数回開催（3～4回程度）</li><li>沖縄らしいSDGsの検討（①共通理念、②ターゲットの絞り込み）</li><li>まとめ次第、沖縄県知事に提言</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>会議を2回程度開催</li><li>SDGsを推進する体制についての検討（フォローアップ体制やプラットフォーム構築についての重要な視点など）</li><li>事務局による先進地域の視察</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>会議を1回程度開催</li><li>SDGsを推進するにあたって重要な取り組みについての検討（具体的な目標設定に必要な検討事項、多様な意見を取り入れるための取り組みなど）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>予備回（※進捗が遅れた場合に開催）</li></ul>

- コロナの動向も考慮して、当面は原則としてオンラインによる会議を進める。
- 必要に応じて、事務局よりメール等でヒアリング（連絡・相談）も行なう。

# 審議事項（1）今年度のスケジュール 8月までのスケジュール



# 審議事項（1）今年度のスケジュール 県民からの意見聴取の方法について（案）

## 1. 実施にあたっての視点

- ・ 広く声を拾い上げることを重視。
- ・ 女性や子どもあるいは障がい者や高齢者など社会的にも配慮を必要とする人々の意見を拾い上げる。

## 2. 意見聴取の方法

### (1) 認知度調査の活用

概要：当該認知度調査において、県民から提出された意見を反映させる

期間：5ヶ月程度必要

時期：12月頃に認知度調査の結果をとりまとめ、最終報告に意見を反映させる

### (2) ステークホルダー会議の開催

概要：万国津梁会議委員にステークホルダー9名程度を加えた「ステークホルダー会議」を開催し、意見聴取する

期間：1回開催

時期：当初は11月頃を想定していた当該会議を、8月頃に前倒して実施する必要がある

### (3) おきなわSDGsパートナーに対するアンケート調査

概要：おきなわSDGsパートナーとして登録された61団体を対象としたアンケート調査を実施する

期間：2週間程度必要

時期：7月上旬～7月中旬頃（2週間程度を想定）

### (4) パブリックコメントの実施

概要：沖縄県ホームページにて広く県民の意見を募集し、当該意見は万国津梁会議にフィードバックする

期間：3週間程度必要

時期：7月末から8月中旬頃を想定

## 3. 意見聴取の内容

- ・万国津梁会議の議論をとりまとめた「SDGsの共通理念」等について、意見を聴取する

## 審議事項（1）今年度のスケジュール ステークホルダーからの意見聴取の方法について（案）

1. 実施期間：令和2年7月上旬～7月中旬頃（2週間程度を想定）
2. 実施対象：おきなわSDGsパートナー61団体
3. 調査内容（案）；
  - （1）沖縄県においてSDGsを推進するにあたり、特に重要だと考えられるターゲットを5つ選択してください（選択式）
  - （2）アフターコロナの観点から、重要性が増したと考えられるターゲットを3つ選択してください（選択式）
  - （3）「沖縄らしいSDGs」の共通理念を検討するにあたり、盛り込んだ方がよいと考えられるキーワードを記述してください（自由記述、複数回答可）  
回答例）「ちむぐる」「平和」「美ら島」
  - （4）「沖縄らしいSDGs」の施策・目標を検討するにあたり、盛り込んだ方がよいと考えられる施策・目標等を記述してください（自由記述、複数回答可）  
回答例）「子どもの貧困対策」「離島振興」「二酸化炭素の排出量抑制」
  - （5）その他、「沖縄らしいSDGs」を検討するにあたり、ご意見やご要望等がありましたら、記述してください（自由記述）
  - （6）ステークホルダー会議を開催した場合、参加していただける意思がありますか（Yes , No）

## 審議事項（1）今年度のスケジュール

【委員の皆さまの検討事項】

**今年度のスケジュールや審議内容等について、  
お気づきの点などご意見をください**  
**<(\_ \_)>**

- スケジュール間（回数等）について、ご意見をお聞かせください。
- 審議内容等について、ご意見をお聞かせください。
- その他、会議の進め方などについて、ご意見をお聞かせください。



## 審議事項（2）沖縄らしいSDGsの検討

- 昨年度の議事概要、中間報告、県民意識調査、沖縄21世紀ビジョン実施計画、日本政府実施指針および国連アジェンダ2030等を踏まえて、**沖縄らしいSDGsの共通理念や、沖縄にとって重要な施策**を実行委員会で検討する。
- 提案内容（概要）としては、下図のようなイメージ。

### 共通理念

- 理念「誰一人も取り残さない、沖縄らしい優しい社会」の実現
- 沖縄県民が理解し納得できる、沖縄らしい共通理念の作成
- <要検討> 新型コロナやニューノーマル（新常態）を踏まえるべきか？

### 実施指針

- 沖縄らしいSDGs実施指針の検討
- <参考資料> 昨年度の万国津梁会議・議事概要、中間報告、県民意識調査、沖縄21世紀ビジョン実施計画、国連アジェンダ2030、日本政府実施方針など

### 重要施策

（基本的課題と目標）

- 沖縄らしいSDGsを実現するための基本的課題と目標（重要施策）の検討
- 課題優先順位や具体的な目標設定
- 推進体制（プラットフォーム構築、フォローアップ体制、パートナーシップの構築など）、普及啓発方法

## 参考：日本政府の実施方針におけるビジョンと優先課題(一部抜粋)

### (ビジョン)

- 「日本の持続可能性は世界の持続可能性と密接不可分であることを前提とし、国内実施、国際協力の両面において、誰一人取り残されることのない持続可能な世界に変革することを目指す」

### (優先課題 (取組の柱) )

- かかるビジョンの達成に向けて、日本は次の8つの優先課題 (取組の柱) を掲げる。これらの優先課題は、2030アジェンダに掲げられている、5つのP (People (人間)、Planet (地球)、Prosperity (繁栄)、Peace (平和)、Partnership (パートナーシップ)) に対応するものである。国内実施、国際協力のあらゆる課題への取組において、人権の尊重を重視しつつ、8つの優先課題 (取組の柱) 全てに統合的な形で取り組む。

それぞれの優先課題 (取組の柱) について推進される具体的な施策等は、付表に記載される。

#### <People 人間>

1. あらゆる人々が活躍する社会の実現 ・ジェンダー平等の実現
2. 健康・長寿の達成

#### <Prosperity 繁栄>

3. 成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション
4. 持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備

#### <Planet 地球>

5. 省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会
6. 生物多様性、森林、海洋等の環境の保全

#### <Peace 平和>

7. 平和と安全・安心社会の実現

#### <Partnership パートナーシップ>

8. SDGs実施推進の体制と手段

## 参考：日本政府の実施方針におけるビジョン・優先課題と 県民意識調査に基づく重要施策の整理

5つのP	優先課題	県民意識調査に基づく 重点施策（上位10位）
People 人間	1. あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等の実現 2. 健康・長寿の達成	1位 子どもの貧困対策の推進 4位 健康福祉社会の実現 7位 雇用対策と職業能力の開発
Prosperity 繁栄	3. 成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション 4. 持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備	3位 魅力ある観光・リゾート地の形成 5位 陸上交通網の整備 10位 新たな産業の創出 9位 離島・過疎地域等の振興
Planet 地球	5. 省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会 6. 生物多様性、森林、海洋等の環境の保全	6位 自然環境の保全・再生
Peace 平和	7. 平和と安全・安心社会の実現	2位 米軍基地問題の解決促進 8位 安全・安心な生活の確保
Partnership パートナーシップ	8. SDGs実施推進の体制と手段	該当なし

## 参考：日本政府実施指針の優先課題と主な取り組み

優先課題	主な取り組み
1. あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等の実現	働き方改革の着実な実施、ジェンダーの主流化・女性の活躍推進、ダイバーシティ・バリアフリーの推進、子供の貧困対策、次世代の教育振興、次世代のSDGs推進プラットフォーム、スポーツSDGsの推進、ビジネスと人権に関する我が国の行動計画、消費者等に関する対応、若者・子供、女性、障がい者に対する国際協力 等
2. 健康・長寿の達成	データヘルス改革の推進、健康経営の推進、医療拠点の輸出を通じた新興国の医療への貢献、感染症対策等医療の研究開発、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ推進のための国際協力、アジア・アフリカにおける取組（アフリカ開発会議（TICAD）を通じたものを含む） 等
3. 成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション	情報通信技術・研究開発強化、人材育成、未来志向の社会づくり（「Connected Industries」・「i-Construction」推進等）、STI for SDGsや途上国のSTI・産業化に関する国際協力、地方創生や未来志向の社会づくりを支える基盤・技術・制度等、地方創生SDGsの推進、持続可能な観光の推進、農山漁村の活性化、地方等の人材育成、農林水産業・食品産業のイノベーションやスマート農林水産業の推進、成長産業化 等
4. 持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備	持続可能で強靱なまちづくり（「コンパクト+ネットワーク」推進）、戦略的な社会資本の整備、文化資源の保護・活用と国際協力、レジリエント防災・減災の構築、災害リスクガバナンスの強化、エネルギーインフラの強靱化、食料供給の安定化、質の高いインフラの推進、環境インフラの国際展開 等

## 参考：日本政府実施指針の優先課題と主な取り組み（続き）

優先課題	主な取り組み
5. 省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会	再エネ・新エネの導入促進、徹底した省エネ・新エネの推進、エネルギー科学技術に関する研究開発の推進、気候変動対策・適応推進、災害リスク体制強化、循環型社会の構築（東京オリンピック・パラリンピックに向けた持続可能性等）、国際展開・国際協力、食品廃棄物の削減や活用、農業における環境保護、持続可能な消費の推進 等
6. 生物多様性、森林、海洋等の環境の保全	持続可能な農林水産業の推進や林業の成長産業化、世界の持続可能な森林経営の推進、地域循環共生圏の構築、生物多様性保護の国際協力、大気保全・化学物質規制対策、海洋・水産資源の持続的利用、国際的な資源管理、水産業・漁村の多面的機能の維持・促進、海洋ごみ対策（含む海洋プラスチックごみ）の推進、地球観測衛星を活用した課題解決、北極域の研究 等
7. 平和と安全・安心社会の実現	子どもの安全（性被害、虐待、事故、人権問題等への対応、児童労働の撤廃）、女性に対する暴力根絶、再犯防止対策・法務の充実、公益通報者保護制度の整備・運用、法の支配の促進に関する国際協力、平和のための能力構築に向けた国際協力を通じた積極的平和主義、人道・開発・平和の切れ目のない支援、中東和平への貢献、アフリカの平和と安定に向けた新たなアプローチ 等
8. SDGs 実施推進の体制と手段	モニタリング（国連におけるSDGs指標の測定協力、SDGsグローバル指標の整備等）、広報・啓発の推進（「ジャパンSDGsアワード」の実施等）、2025年万博開催を通じたSDGsの推進、地方自治体や地方の企業の強みを活かした国際協力の推進、市民社会等との連携（NGOを通じた開発協力事業の実施等）、適切なグローバル・サプライチェーン構築、SDGs経営イニシアティブや、ESG投資の推進、途上国における国内資金動員のための税制・政務執行支援、SDGs達成のための革新的資金調達（リーディンググループ、有識者懇談会、休眠預金）、途上国のSDGs達成に貢献する企業の支援、SDGs推進円卓会議を通じたあらゆるステークホルダーとの連携（国際大学、フューチャー・アース等） 等

## 審議事項（2）沖縄らしいSDGsの検討：目標・施策の検討の流れ



(SDGsのターゲット169)



沖縄県の地域特性等を踏まえ、特に重要視すべきターゲットを抽出



県民意識調査やアンケート等を  
踏まえた再整理



共通理念やキーワード等を踏まえた  
目標や施策等の検討



提言の中間とりまとめ

### 県民意識調査に基づく重点政策

- 1位 子どもの貧困対策の推進
- 2位 米軍基地問題の解決促進
- 3位 魅力ある観光・リゾート地の形成
- 4位 健康福祉社会の実現
- 5位 陸上交通網の整備
- 6位 自然環境の保全・再生
- 7位 雇用対策と職業能力の開発
- 8位 安全・安心な生活の確保
- 9位 離島・過疎地域等の振興
- 10位 新たな産業の創出

## 審議事項（2）沖縄らしいSDGsの検討：①共通理念の検討

- ・ 沖縄らしいSDGsの共通理念を考える上で、抽出されたキーワードは下表の通り（※詳細は別添資料1参照）。
  - ・ これらキーワードから、共通理念を検討する。
- ※ 表中の数値（No.）は便宜上付けたもので、優先順位ではない。

No.	キーワード
1	健康的な生活の確保
2	高齢者だけになっている地域
3	健康・長寿（おきなわの推進）
4	サステイナブル（継続的）
5	継続的
6	循環型社会
7	あるべき世界
8	教育、人づくり
9	横断的
10	誰一人取り残さない
11	パートナーシップ（連携）
12	グローバルネットワーク
13	世界のウチナーンチュネットワーク／連帯感
14	世界との交流ネットワーク（の形成）
15	国際協力・貢献活動（の推進）

No.	キーワード
16	グローバルスタンダード
17	沖縄らしい・沖縄ならではの
18	美ら島
19	アクション／ワンアクション
20	ひとりひとり（個人）
21	多様性
22	数値目標
23	ちむぐくる
24	バックキャストिंग
25	SDGsおきなわモデル
26	優しさ・助け合い
27	ゆいまーる
28	共助・共生（型地域づくりの推進）
29	永遠の『平和』
30	いちゃりばちょーでー

No.	キーワード
31	価値創造（のまちづくり）
32	産業振興
33	観光
34	世代を超えて
35	自分らしく
36	架け橋
37	津梁
38	2030年
39	残す沖縄、変えていく沖縄
40	優しさと潤い
41	みんなが考える
42	密着
43	自ら（取り組む）
44	（認知度が高いうちなーぐち）
45	人間の安全保障

## 審議事項（2）沖縄らしいSDGsの検討：①共通理念の検討

### アフターコロナに向けた方向性

- コロナが再発した際の将来のショックを減らし、社会の強靭さを強める先導的投資や生活習慣の変化が求められる。
- 包摂性を重視し、不平等を減らし、生活の質を向上。
- 長期の廃棄物排出のゴール、気候変動に対する強靭さを考える。
- サプライチェーンの循環を増やす。
- アクセスしやすい交通の流動性（モビリティ）、低炭素への投資、電力システムの分散化等

出典：OECDレポート（2020.6.5）

*Building Back Better: A Sustainable Resilient , Recovery after COVID-19*  
復興発展 -コロナ後の持続的で強靭な復活- （仮訳） より

### アフターコロナの7つのメガトレンド

- （1）分散型都市 （集中から分散へ、分散型都市の災害等リスク回避、地産地消）
- （2）ヒューマントレーサビリティ （監視社会への批判、透明性の高い情報管理等）
- （3）ニューリアリティ （在宅勤務、サービスのオンライン化、オンライン大会）
- （4）職住融合 （オフィス・住宅のあり方、居住地分散化）
- （5）コンタクトレステック （VR、接客ロボット、遠隔化、タッチレス、衛生工学）
- （6）デジタルレンディング （非対面融資、デジタルの力で金の流れが滑らかに）
- （7）フルーガルイノベーション （既存技術・サービスの最適化、速さと非対面）

出典：「アフターコロナ 見えてきた7つのメガトレンド」日経クロステック編者、日経BP発行 より



## 参考：コロナ後の社会変化のイメージ例

### 経済・企業

#### デカップリングの進展

- (経済成長を維持しエネルギー消費量を減)
- サプライチェーンに冗長性を持たせる分散化

#### 安定調達的重要性向上

- コスト減に加え、安定調達ニーズが増大

#### 非対面への切り替え本格化の進展

- 製造、販売、教育など多方面発生

#### 働き方改革、業務効率化の進展

- 顕在化した無駄な業務の取りやめ
- リモートだけでなく、多様な働き方の導入

#### 経済全般への政府の関与拡大

- 国民に対する安心・安全・安定の提供

### 個人・社会

#### 健康意識の高まり

- 健康関連食品、運動ニーズ
- 検査・ワクチン・衛生製品へのニーズ

#### 安全・安心へのセンシビティの向上

- 各種ライフラインへの感度、意識の向上

#### バーチャルのサービス享受の機会拡大

- デジタル消費の拡大、リテラシー向上

#### リモートによる活動の一般化

- 移動への躊躇、抵抗感の高まり
- リモートでのサービス利用の拡大

#### 社会的価値の高まり

- 存在意義、社会価値 (CSV,SDGs) の重要性

## 参考：日経SDGsフォーラム「コロナ後の経済蘇生へ 持続可能な新常を」（2020.5.14）

### <主な識者の発言概要>

リモート・デジタルの推進、サプライチェーンの多重化・多元化など、経済社会のあり方を抜本的に見直す機会になる。新しいライフスタイルを実現し、一歩進んだ新しい社会にシフト。

ニューノーマルの確立を含め、SDGsの達成に向けた行動が加速。 （茂木外務大臣）

コロナからの復興とSDGsの両立を目指し、社会経済の再設計を推進する。 （小泉環境大臣）

ニューノーマルを確立する上で、SDGsの統合的アプローチと「誰一人取り残さない」大原則が不可欠真に包摂的で公平で気候変動に配慮し、持続可能な社会経済モデルに転換しつつ復興を推進すべき。

（国連広報センター所長 根本かおる氏）

持続可能性が経営の根幹となり、ESG（環境、社会、企業投資）を経営に組み込む必要がある。社員や家族の幸福も経営の重要な要素。

（TCFDコンソーシアム会長/一橋大学CFO教育研究センター長 伊藤邦雄氏）

経済活動の低下で世界中に青空が広がったことから環境問題の重要性が再認識。環境問題への取組が一気に進む可能性。健康と経済はトレードオフではなく、健康問題を解決しなければ経済回復はない。リモートワークは働き方と都市構造を変える。地方創生の大きなきっかけ。賃金が成果に対して支払われる仕組みになっていない。構造改革で社会全体のシステムを変える。

（東洋大学 教授 / 慶応義塾大学 名誉教授 竹中平蔵氏）

米国では既に金融、法務、教育、医療など多くのサービス業がオンラインに舵を切り、Eコマースが拡大、デジタル経済に移行。銀行、保険業、広告代理店、法律事務所は在宅勤務が基本となり、多くの企業が広いスペースを必要としなくなっている。輸送規模も減少し、石油、ガスの消費は大幅に減った。再エネ、スマートグリッド、新輸送システム、環境、安全、インフラ改善への投資で生活の質を上げ、雇用を拡大できる。 （経済学者 ジェフリー・サックス氏）

## 参考：アフターコロナとSDGsのキーワード整理 (OECDレポートと日経SDGsフォーラムの発言概要をベースに整理)

### 理念的視点

包摂性を重視し、不平等を減らし、生活の質を向上

SDGsの統合的アプローチと「誰一人取り残さない」  
大原則が不可欠

真に包摂的で公平で気候変動に配慮し、持続可能な  
社会経済モデルに転換しつつ復興を推進

長期の廃棄物排出のゴール、気候変動に対する強  
靱さ

新しいライフスタイルを実現  
ニューノーマル（新常態）の確立

### 施策的視点

リモート・デジタルの推進  
デジタル経済に移行

リモートワークは働き方と都市構造を変える

環境問題への取組が一気に進む

健康問題を解決しなければ経済回復はない

再エネ、スマートグリッド、新輸送システム、環境、安  
全、インフラ改善への投資で生活の質を上げ、雇用を  
拡大

## 審議事項（2）沖縄らしいSDGsの検討：①共通理念の検討

- 共通理念の事務局案としては下記の通り（※詳細は別添資料2参照）。
- 基本的な考え方として、①沖縄らしいSDGsであることを表現、②「誰一人取り残さない」SDGsの考え方を反映、③昨年度における万国津梁会議での委員の意見を踏まえる、④沖縄21世紀委ビジョンの考え方とマッチングなどを意識して作成。

No.	共通理念（事務局案）
1	心も豊かに懐も豊かに、ちむぐるで支えあう、めざせわったー美ら島循環型社会
2	持続可能な島嶼型社会の形成を目指して、広げようちむぐる、育てよう子どもたち、一人一人が貢献できる環境づくり
3	誰もが心身ともに健康で、ひとりひとりの可能性を發揮でき、それぞれの多様性を尊重しあえる社会
4	「ちむぐる」と「むぬぐるぐる」の島、うちなー
5	沖縄の優しさ・助け合いの‘ちむぐる’で 誰ひとり取り残さない 平和な 社会づくり
6	永久（とわ）の平和を願い、豊かな未来を共創する、わったー美ら島「おきなわ」
7	自然、繁栄、ちむぐるが持続する循環型社会おきなわ

## 審議事項（2）沖縄らしいSDGsの検討：①共通理念の検討

【委員の皆さまの検討事項】

**沖縄らしいSDGsを表現する  
共通理念について、ご検討ください  
<(\_ \_)>**

- 事務局案は、あくまで例示・叩き台ですので、踏襲しなくても結構です（自由にご検討ください）。
- 新型コロナやニューノーマル（新常態）についても盛り込むべきかどうか、ご意見をお聞かせください。
- その他、沖縄らしさを表現するキーワードなどありましたら、ご提示ください。

## 審議事項（2）沖縄らしいSDGsの検討：②ターゲットの絞り込み

- SDGsにおいて、ゴール下のターゲットの進捗を具体的に測定するためにグローバル指標が設定され、一部のグローバル指標に対しては、自治体SDGs推進評価・調査検討会により、日本で取り扱いやすいようにローカル指標（LI）案が設定されている。
- 国の示したターゲット数169から、事務局案として沖縄県の地域特性を踏まえて特に重要視すべき項目を71挙げた（※別添資料3参照）。

ゴール	各ゴール内 ターゲット 数	沖縄県で特に 重要視すべき ターゲット数
1. 貧困をなくそう	7	2
2. 飢餓をゼロ	8	3
3. すべての人に健康と福祉を	13	5
4. 質の高い教育をみんなに	10	4
5. ジェンダー平等を実現しよう	9	5
6. 安全な水とトイレを世界中に	8	3
7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに	5	3
8. 働きがいも経済成長も	12	8
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	8	4

ゴール	各ゴール内 ターゲット 数	沖縄県で特に 重要視すべき ターゲット数
10. 人や国の不平等をなくそう	10	2
11. 住み続けられるまちづくりを	10	8
12. つくる責任 つかう責任	11	6
13. 気候変動に具体的な対策を	5	2
14. 海の豊かさを守ろう	10	3
15. 陸の豊かさも守ろう	12	7
16. 平和と公正をすべての人に	12	4
17. パートナリーシップで目標を達成 しよう	19	2
<b>合計</b>	<b>169</b>	<b>71</b>

## 審議事項（2）沖縄らしいSDGsの検討：②ターゲットの絞り込み

【委員の皆さまの検討事項】

**沖縄でのSDGsに関する取り組みや  
ターゲットについて、ご検討ください  
<(\_ \_)>**

- その他、沖縄で重視すべきターゲットについて、ご意見をお聞かせください。
- 事務局案は、あくまで例示・叩き台ですので、踏襲しなくても結構です（自由にご検討ください）。

## 審議事項（3）県民認知度調査について

- ・ 沖縄県が推進する持続的発展につながるような社会環境や、県民の生活の現状を把握し、今後の県の施策の検討に役立てることを目的として、SDGsの県民認知度調査を実施。
- ・ 実施主体はサーベイリサーチセンター沖縄事務所で、7～8月中に実施予定。
- ・ アンケートの内容等について本会議で検討し、委員の意見を反映した形で実施する（※アンケート票については、別添資料4参照）。

調査の対象	・ 県内に居住する満15歳以上、満75歳未満の男女
標本数	・ 調査地点数200地点から、2,000件 ・ 地域分類は、北部・中部・南部・那覇市・宮古・八重山の6地域
調査内容	・ 属性（年齢、性別、家族構成、仕事・職業、住居形態、世帯年収等） ・ SDGsの認知度 ・ SDGsに関する（準じた）取り組み ・ コロナウィルスの生活への影響 ・ SDGs 17の目標の重要度 ・ 重点施策（8つ）の重要度、等

アンケートの作成

万国津梁会議での検討

アンケートの修正

アンケートの実施

アンケートの集計・分析

調査結果の中間報告  
(万国津梁会議)

6月

7月

8月

9月頃～



## 審議事項 (3) 県民認知度調査について

【委員の皆さまの検討事項】

**質問事項について、  
お気づきの点などご教示ください  
<( \_ \_ )>**

- 属性の部分については、県民意識調査に準拠しておりますが、過不足やお気づきの点がないか、ご意見をお聞かせください。
- 質問の部分に過不足やお気づきの点があれば、ご意見をお聞かせください。
- その他、アンケート結果の示し方などについて、ご意見をお聞かせください。